留萌市主催シンポジウム

地域健康づくり関連人材の移住促進・養成プロジェクト

留萌市立病院における 医師事務作業補助者の育成と地域医療の継続にかかるシンポジウム

留萌市立病院では平成 28 年から 3 カ年にわたり、質の高い医師事務作業補助者を育成・活用することで医師の勤務環境を改善し、留萌圏域の住民の健康と生活を守る医療機関として継続できる仕組みづくりについて模索してきました。

取組の最終年度となるシンポジウムでは、これまで 3 年間の取組の成果を報告し、そこから見えてきた「地域医療の継続」に向けた実践のヒントを、皆さんと共有します。

2019 年
3 月 9 日（土）

開 場　13:00
13:30 − 16:00

入場無料

会 場
札幌会議・研修施設「ACU-Y」　大研修室 Y0313
札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 読売北海道ビル 3F　※ 裏面に案内図を掲載

第 I 部　講　演

帯広厚生病院における医師事務作業補助者の役割と活用（仮）
～電子カルテ導入と医師事務作業補助者の重要性、病院運営に及ぼす効果～

JA 北海道厚生連
帯広厚生病院
医事課　係長
伊 藤　里 奈 氏

平成 3 年から当該病院に勤務。受付・会計、病棟、健診センターを経て診療情報管理室の立上げや、DPC 導入に関わる。その後、院内における医師事務作業補助体制の構築に携わり、現在は医事課係長として主に医師事務作業補助者（平成 31 年 2 月現在 53 名）の管理・育成に従事する。診療情報管理士。日本病院協会「DPC 認定資格」取得。

第 II 部　3 年間の取組報告

1. **留萌市立病院における医療クラークの勤務実態**　～病院職員アンケートとタイムスタディ調査の結果から～
   一般社団法人　北海道総合研究調査会
2. **留萌市立病院における質の高い医師事務作業補助者（医療クラーク）の育成**
   公益社団法人 医業経営コンサルタント　小山田　剛　氏
3. **留萌市立病院における医師事務作業補助者の育成・能力向上の経過と成果、今後の課題**
   留萌市立病院　院長　村松　博士　氏

第 III 部　パネルディスカッション

医師事務作業補助者の育成と活用　～「住民」と「医師」の命と暮らしを守る地域医療の実現のために ～

コーディネーター	一般社団法人 北海道総合研究調査会	理 事 長	五十嵐 知嘉子
パネリスト	・帯広厚生病院	医 事 課	伊 藤　里 奈 氏
	・留萌市立病院	院　　長	村 松　博 士 氏
	・NPO 法人日本医師事務作業補助研究会	副理事長	南 木　由 美 氏
	・内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	参 事 官	中 野　孝 浩 氏
	・北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課	課　　長	小 川　善 之 氏

留萌市主催シンポジウム　医師事務作業補助者の育成と地域医療の継続

参加申込書

申込先

F A X：011-222-4105

E-mail：tera@hit-north.or.jp

一般社団法人 北海道総合研究調査会（略称：HIT ヒット）　担当｜寺下

※
一般社団法人 北海道総合研究調査会は、留萌市からの委託により本シンポジウムを運営します。

申し込み

申込締切：3月5日（火）

参加者氏名		
連　絡　先	お勤め先 ご 所 属	
	住　　所	〒
	TEL FAX	TEL（　　）　　- FAX（　　）　　-

・申込書に記載された個人情報については、適正に管理を行い、本シンポジウム以外の目的に使用することはありません。

会場案内　MAP

お問合せ　事務局

一般社団法人 北海道総合研究調査会
（略称：HIT ヒット）

担　当	寺下
住　所	〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館3階
TEL	011-222-3669
FAX	011-222-4105
E-mail	tera@hit-north.or.jp